

若狭湾沿岸における津波堆積物調査の実施について

平成23年9月9日
関西電力株式会社
日本原子力発電株式会社
独立行政法人日本原子力研究開発機構

関西電力株式会社、日本原子力発電株式会社、独立行政法人日本原子力研究開発機構の3社（以下、「3社」という。）は、若狭湾沿岸における津波の堆積物について、共同で調査を実施することとし、自然公園法の規定により申請書を提出しました。

3社は、東北地方太平洋沖地震以降に開催された福井県原子力安全専門委員会でのご意見を踏まえ、若狭湾における津波の痕跡に関する情報を蓄積することを目的とした調査内容を地元の皆さまにご説明するなどの諸準備を行ってきました。

本調査は、三方五湖およびその周辺において、陸上・湖面上の合計9地点でボーリング調査を実施し、採取した試料の分析・評価を行う計画であり、期間は約1年間を予定しています。

現地でのボーリング調査については、法令上の許認可が得られるなど準備が整い次第、着手します。

なお、調査結果については、津波堆積物に関連する学識者に評価をしていただいた上で公表いたします。

今後、津波等に関する情報収集に努め、新たな知見が得られた場合は津波の評価および対策に適切に反映してまいります。

以上

添付資料：若狭湾沿岸における津波堆積物調査の概要

若狭湾沿岸における津波堆積物調査の概要

1. 調査目的

若狭湾付近の過去の津波の痕跡の情報を蓄積することを目的として、若狭湾沿岸における津波堆積物調査を実施します。

2. 調査実施機関

関西電力㈱、日本原子力発電(株)および(独)日本原子力研究開発機構の3社共同で実施します。

3. 調査位置および調査方法

○津波の痕跡を調査する地点としては、標高が低く、海岸に近い平野で環境の穏やかな(堆積物にとって良好な保存状態が保たれている)湖沼や低湿地などが適していることから、三方五湖およびその周辺にて実施します。

○調査は陸上および湖面上の全9箇所、1箇所あたり約10～30mをボーリング調査で土石を採取し、その分析により津波堆積物の有無や年代を特定します。

【ボーリング調査イメージ】

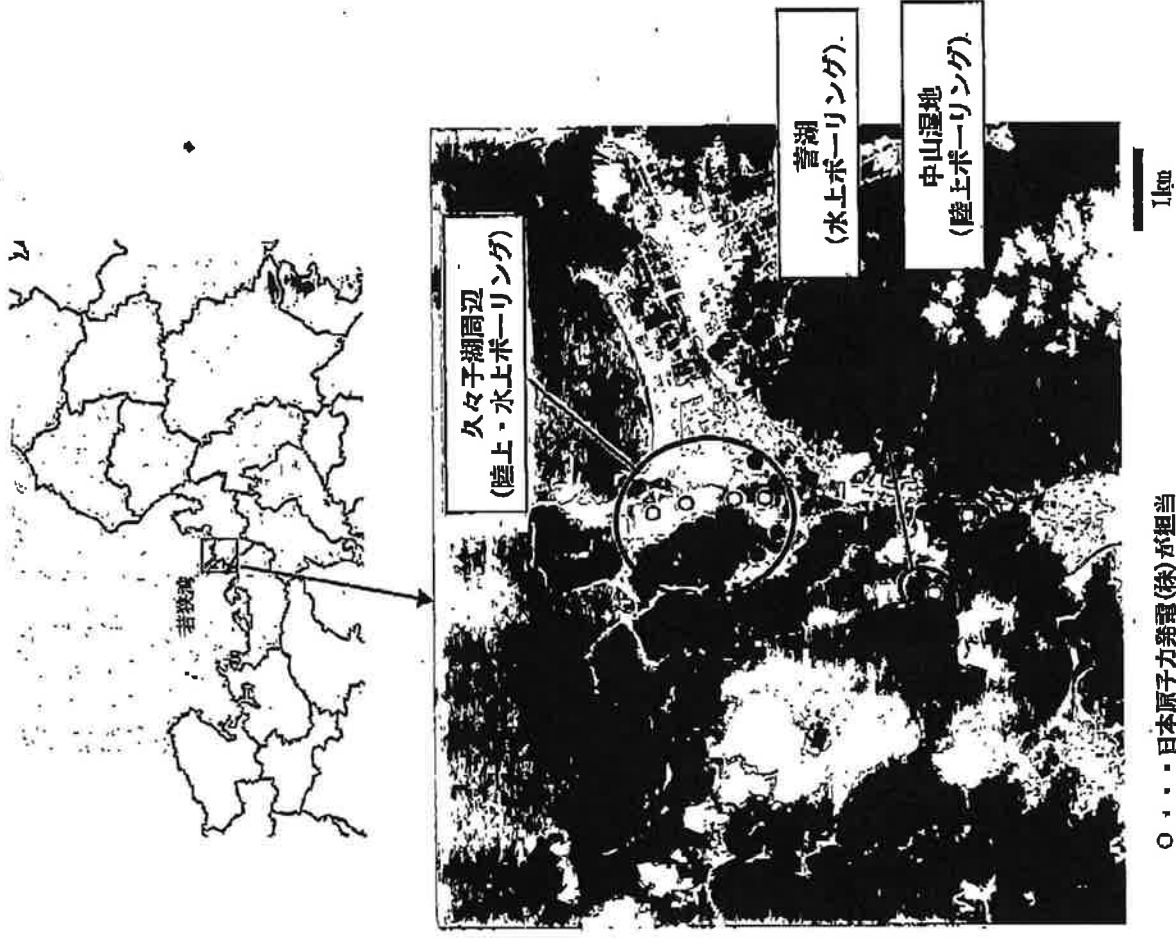


4. 調査期間

現地調査着手から採取した試料の検討・評価まで約1年をかけて行う予定です。

*なお、調査位置・調査期間などは変更する可能性があります。

5. 調査予定位置



- ・・・日本原子力発電(株)が担当
- ・・・(独)日本原子力研究開発機構が担当
- ・・・関西電力(株)が担当